





SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (真などの取得経路があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこもりに自由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、国籍などで差別することなく、全員が同一の雇用条件である。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメント防止に向けて、社員全員が社長とも積極的にコミュニケーションを取れる環境づくりをしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			毎週週末に社員の労働時間を確認しており、働きすぎでないか確認している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在、外国人労働者はいない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			危険予知活動や機械の整備、点検を行い事故を防ぐための取り組みをしている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			社員が少数ということもあり、社員全員とコミュニケーションを取りやすく、誰もが相談しやすい環境となっている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性、高齢者等全ての従業員が能力に応じて活躍できるような労働環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社員の資格所得に向けて積極的にサポートしている。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			雇用者全員が正社員である。						5.5		8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			都道府県協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行っている。			3						8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			事務所内や現場でたごみは分別し、適切に処理している。										11.6 12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			現状では把握できていないため、今後自社のエネルギー使用量と温室効果ガス排出量を把握できるように取り組んでいく。詳細は未定。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			待機電力の削減などを通じて、温室効果ガス排出の抑制に取り組む。							7.2 7.3					12.4 13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			使用している有害化学物質を把握し、使用量の抑制や適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6 12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得経路があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			施工の際に生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないように細心の注意を払っている。							6.6							15			
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			ゴミの分別や社内で利用する書類は裏紙を使用している。詰め替え可能な文具を使用している。									12.5	14.1							
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の水の使用量を把握・管理し、使用量の抑制に努めている。					6.4	6.6											
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			自社で環境に対する取り組みを行っているが、エコアクション21等は取得していない。			3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			環境の取り組みに関する情報などをHPで公開していない。									12.6								
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.2				13							
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			裏紙の使用や見積書などを紙媒体からデジタル化することによりペーパーレスに取り組んでいる。									12.2	13	14	15					
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄を禁止する方針を社内会議で伝え、社員が周知する機会を設けている。														16	16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為に関与しない方針を社内会議で伝え、社員が周知する機会を設けている。															16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			知的財産の所得はないが、侵害をしないように配慮している。							8.2	8.3	9								
25 公正な 事業 慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			情報管理ツールを使用して個人情報の管理を行っている。															16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			紛争鉱物の取り扱いをしていない。															16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			パートナーシップ構築宣言を作成・公表している。			3					8	9	10						17	

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得履歴があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこもりに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品・サービスの使用時に起こりえるリスクの想定、対策を行っている。					3.9													12.4												
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			お客様からのクレーム対応や施工で細部まで確認を怠らず行い、質の高いサービスを行っている。										9																				
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			資源の余りを減らすために最適な量を考え発注している。								6									12	13	14	15										
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
33	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			自社の施工で騒音など地域に与える影響を把握し、地域住民に説明や意見交換を行い、施工に反映させている。					4						9					11	12			14	15	17								
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ								4												11				14	15	17							
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ		【予定】	地域資源の優先的使用を促進していく。												8	9			11	12	13												
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有している	基本			経営理念や経営方針を朝礼で社員に共有している。												8	9																17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			朝礼等で法令遵守について社員に周知させている。																													16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			担当者を今後任命する。																													16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー <small>(※)</small> との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している <small>(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)</small>	基本			自社の活動で及ぼす影響について、近隣住民や利害関係と意見交換を行い施工に反映させている。																											16	17		
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			施工を行う際に起こりうるリスクを想定し、対策を考えるなどリスク管理を行っている。																												16		
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			CSRの理解を深め、企業活動が及ぼす影響に対して責任を持った対応を行っている。																													16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	事業継続計画の検討及び策定。																	9		11				13	13.1				16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者を選出し、事業承継の指導を行っている。																													17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																		

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

- この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定